

## 地方シンクタンク協議会「第19回経営者会議」

### ～テーマについての補足説明～

#### ■テーマ①:

#### 「ポストコロナの地域戦略～NEXT ステージ～」

収束の先行きが不透明ながらも、感染症分類の見直しが議論されるなど、新型コロナウイルスとの共生は新たな局面へと移行しつつあります。今後、外国人の受け入れや県外移動の緩和など、人の流れが活発化し、これからの地域経済の活性化へとつながる可能性があります。また、コロナ禍だからこそ、生まれた新事業や、成長した分野など、地域にとってプラスとなっている事例もあろうかと存じます。

このような状況を踏まえ、地域シンクタンクとして、今、本当に地域振興に必要なこと、準備しておくべきこと、地域シンクタンクとして何ができるのか、経営層の視点からディスカッションいただきます。

#### ■テーマ②:

#### 「シンクタンクが考える「デジタル田園都市国家構想」」

国の地域経済の活性化策として「デジタル田園都市国家構想」が打ち出されています。

『地方の魅力をそのままに、都市に負けない利便性と可能性を』を目指し、地方からデジタルの実装（5Gや半導体、データセンター、デジタルインフラの整備）を進めていくことで、高齢化や過疎化などの社会課題を解決し、「心ゆたかな暮らし」(Well-being)と「持続可能な環境・社会・経済」(Sustainability)を実現していくとしています。

本構想について、地域シンクタンクとしてできることとは何か、経営層の視点からディスカッションいただきます。